

(別添7)

事業所名 グループホーム 高江の里

2 目標達成計画

作成日: 令和5年9月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24・26	フェイスシートをうまく活用できておらず、情報の更新が出来ていない。	都度、情報(フェイスシート)を更新する事で、個々に合ったCPの作成、実行。また、情報収集をする事で居室作りや適切なケアの提供が出来る。	担当者会議(CP評価)の際、事前にユニット職員で集まり、その方について意見を出し合い情報収集の場を設けている。計画作成者が職員の意見を汲み取り、アセスメントシートに反映させている。事前カンファレンスはまだ始めたばかりの為、12ヶ月後に評価を行う。	12ヶ月
2	49・60	コロナ禍により、外出する機会が減っている。	外出をすることで外気に触れ、気分転換を図る。施設の中だけにしないようにする。	定期的にドライブの計画を立てる。個々で行きたい場所等をピックアップし、それに沿った計画を立てる。(計画書の作成は定期的に行うが、ドライブ実施は感染状況や感染対策に伴い変更される事もあります。)	12ヶ月
3	49	感染対策や入居者個々の重度化が進み外気に触れる事が出来ていない。	全入居者が、1日1回は外気に触れるよう機会を設ける。	ドライブが難しい方であっても、施設周辺の散歩や窓を開ける事で外気に触れる機会を設けているが、全員を対象とすることが出来なかった。今年度も目標として取り組む事で習慣化を目指す。	12ヶ月
4	54	排泄用品が見える位置に置かれている。収納の工夫が出来ていない。	お部屋の中の環境整備、排泄用品の保管場所をしっかり確保する。不快な思いをさせず居心地の良い空間作りに努める。	入居者様と一緒にレクリエーションの一環として段ボールに折り紙等を貼り付け、収納棚を制作し、おむつの収納として活用し見えない収納の環境を作る。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。